

# 鍼灸師船長

広浜 隆志



1. 鍼灸師になった理由
2. 職歴
3. 鍼灸師になるには
4. 西洋医学  
東洋医学の特徴
5. 鍼灸治療の適応
6. 鍼灸治療の限界
7. 鍼灸師としての職歴
8. これだけは知っていたい10のツボ
9. 実技

# 初めに

- 60歳  
航海訓練所定年退職
- 第二の人生



# 1. 鍼灸師になった理由

- 母親の体験
- TV映像での衝撃



## 2. 職歴

- ・航海訓練所(38年) 海王丸船長(1.5年)
- ・原子力船 むつ 二等航海士(2年)
- ・海技試験官 関東運輸局、運輸本省(1.5年ずつ)
- ・海技大学校 教授(2年)
- ・JICA専門家 トルコ(イスタンブール) (3年)
- ・SECOJ(日本船員雇用促進センター) 審査員(6年)

### 3. 鍼灸師になるには

- 3年制の医療専門学校 (1.5時間×2 / 日)
- 4年制の医療系の大学

卒業後 国家試験合格—免許登録

- 海技試験との違いは年一回 筆記試験のみ  
合格ライン60点 合格率85%

- 解剖学 皮膚、筋肉、骨、血管、神経、内臓
- 生理学 血液、免疫、代謝(尿、汗)
- 東洋医学概論 経穴(ツボ)— 361 +48穴

## 4. 東洋医学の特徴

- ・副作用がほとんどない
- ・簡単にできる
- ・3000年の重み

### ツボ(経穴)療法

ここと見込んだ所  
灸をすえるべき所

361穴 + 48穴

一般的には、痛い所や違和感のある所に自然と手がいって、触れているうちに症状が緩和された経験

BL 32  
じりょう  
次膠

BL 33  
ちゅうりょう  
中膠

BL 34  
げりょう  
下膠

BL 35  
えりょう  
会陽

半腱様筋

BL 36  
しょうふ  
承扶

BL 37  
いんもん  
殷門

BL 38  
ふげき  
浮郤

BL 40  
いちゅう  
委中

BL 39  
いりょう  
委陽



7胸胸位

大腿二頭筋

正中線

0

14

承扶から委中までの長さを1尺4寸とする。



GV 10  
れいだい  
靈台

GV 9  
しやう  
至陽

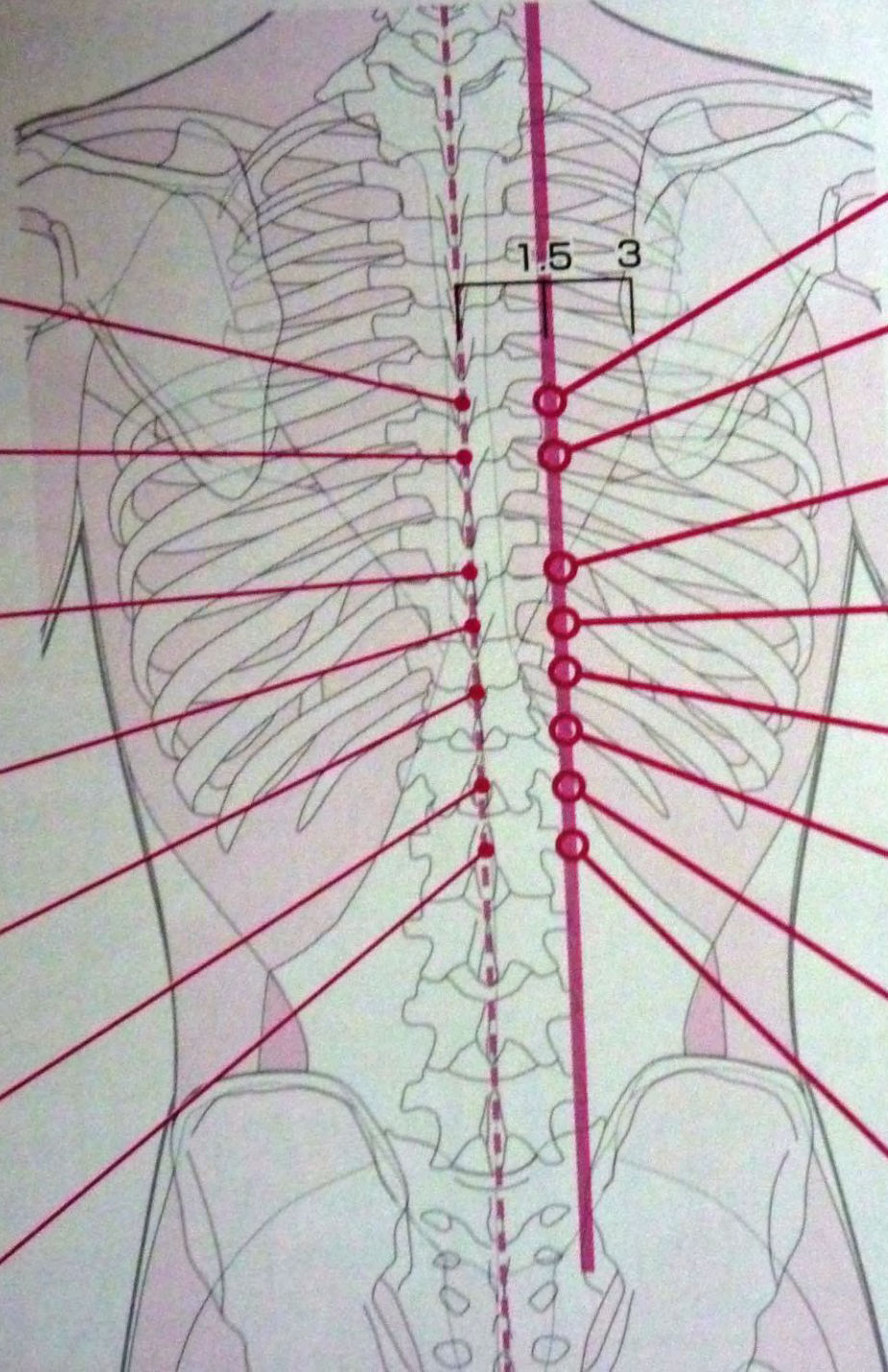
GV 8  
きんしゆく  
筋縮

GV 7  
ちゆうすう  
中樞

GV 6  
せきちゆう  
脊中

GV 5  
けんすう  
懸樞

GV 4  
めいもん  
命門



BL 16  
とくゆ  
督俞

BL 17  
かきゆ  
膈俞

BL 18  
かんにゆ  
肝俞

BL 19  
たんにゆ  
胆俞

BL 20  
ひにゆ  
脾俞

BL 21  
いにゆ  
胃俞

BL 22  
さんしやうゆ  
三焦俞

BL 23

正經十二經脈

あし ようめい い けい  
足の陽明胃經

しょうきゅう  
承泣 / 82

し ぱく  
四白 / 82

こ りょう  
巨膠 / 82

ち そう  
地倉 / 82

だいげい  
大迎 / 83

きょうしゃ  
頰車 / 83

げ かん  
下関 / 83

ず い  
頭維 / 83

じんげい  
人迎 / 84

すいとつ  
水突 / 84

き しゃ  
氣舎 / 84

けつほん  
欠盆 / 85

き こ  
氣戸 / 85

こ ぼう  
庫房 / 85

おくえい  
屋翳 / 85

ようそう  
膺窓 / 85

にゅうちゅう  
乳中 / 85

にゅうこん  
乳根 / 86

ふ よう  
不容 / 86

しょうまん  
承満 / 87

りょうもん  
梁門 / 87

かんもん  
関門 / 87

た いてつ  
太乙 / 87

かつにくもん  
滑肉門 / 87

てんすう  
天枢 / 87

がいりょう  
外陵 / 87

だい こ  
大巨 / 88

すいどう  
水道 / 89

き らい  
归来 / 89

き しょう  
氣衝 / 89

ひ かん  
脾関 / 89

ふくと  
伏兔 / 89

いん し  
陰市 / 89

りょうきゅう  
梁丘 / 90

とく び  
犢鼻 / 91

あしさん り  
足三里 / 91

じょう こ きよ  
上巨虚 / 91

じょうこう  
条口 / 91

げ こ きよ  
下巨虚 / 91

ほうりゅう  
豊隆 / 91

かいけい  
解溪 / 91

しょうよう  
衝陽 / 92

かんこく  
陷谷 / 92

ないてい  
内庭 / 92

れい だ  
厲兌 / 92

# 東洋医学

# 西洋医学

## 特徴

調和型医療

攻撃型医療

## 治療方法

- 1.患者の体質を改善して予防する方法を探る
- 2.患者の自覚症状を重んじ、病状を観察して「証」を決定してから治療に臨む

- 1.病気の根源を細分化し徹底的に検査・究明
- 2.薬を用いて病原を攻撃
- 3.手術で病巣を切除

## キーワード

自然界に生活している人間が病気に罹患した時に病気だけを見るのではなく、病人を見ることに重点を置く

病巣は切除できたけれどもも身体全体のバランスが崩れて人間としての生活が難しくなるケースもある

## 5. 鍼灸治療の適応

- 冷え、ほてり、痛み、しびれ、
- 自律神経失調症から起こる頭痛、耳鳴り、肩こり、便秘、体のだるさ、手足の冷え、不眠、
- はっきり病気だというわけではないのに、体がだるい、食欲がない、疲れやすい、顔色が悪い、胃腸の調子が悪い

## 6. 鍼灸治療の限界

- 癌、感染症、脳血管障害には無力  
外科的治療が必要
- 症状を軽くすることはできる



## 7. 鍼灸師としての職歴

- 東京医療専門学校鍼灸科付属施術所での研修生(4年間)  
週三日(8時間) 一般の患者への施術  
平均 4人/日 = 12人/週 = 50人/月 = 500人/年 × 4  
= 2,000人
- 現在は整骨院で鍼灸師として週四日勤務のアルバイト